

近きの心持せらる、而して路南は特に樹木村落多く、且つ逶迤たる大華嶺近く十數町乃至一里の間隔を以て屏立するも、路北は概ね開濶の平地を成して渭河の河岸に及ぶ。

華州城は人家約二千、南に大華山タイホウシヤンを負ひて三面開放せり。官衙には直隸州官衙、巡警局學校には小學堂一個あり。産物は主に綿花、藍、玉蜀黍、柿を出し、宗教は耶蘇教徒數百名あるのみ。聞く以前は回教徒存在せしも、官民共に壓迫驅逐して、今は一の信者を留めずと。土民は一般に怠惰にして鴉片を嗜む。降雪期は概ね十一月、結氷期は二月、雨期は六七月とす。

三日午前八時華州を出で、西行一里餘にして石堤河シイデーホを渡る。河幅約八米突餘、兩岸高さ五尺許、架するに石橋を以てす、此附近に桑樹多し。軍趙鎮チュイエンチヤオチン（人家約十餘戸）新鄭堡シンチョンブ（人家約三十餘戸）郭鎮コウチエン（人家約十餘戸）を経て赤水チシユイ（人家約百餘戸）に到る。此附近一帶の地質は概ね土砂とす。西部に河あり、赤水河と稱し、幅約十六米突、西岸絶壁約四米突あり、石橋を架す。何庄チョウワンシヤオサイウーサイ、小塞、吳塞等を過ぎ、行くこと約二里、藏堂嘴ツァンタンシ（人家十餘戸を有）に至る。狼火臺あり、方形を成し、高さ丈餘、此より西門に向ひ、五龍山の坂路に就く、下れば則ち渭南イナンの